



東京産業保健総合支援センター研修案内(令和4年12月)

◇研修は当センターのホームページからお申し込みください。※利用者登録(無料)が必要です。

◇当センターが主催する研修は、すべて無料で受講できます。

◇研修は当センターの研修室で開催しています。会場が異なる場合は表記いたしますのでご注意ください。

〒102-0075 東京都千代田区三番町6-14 日本生命三番ビル3F TEL:03-5211-4480 FAX:03-5211-4485

URL=https://www.tokyosjohas.go.jp

◆日医認定産業医研修◆

※基礎研修は実施していません。認定証をお持ちの産業医の方が対象の研修です。

◆重要◆

【日医認定産業医研修(令和4年12月開催分)の申込受付方法変更について】

日医認定産業医研修(令和4年12月開催分)は、先着順ではなく、抽選にて受講の可否を決定することといたしました。つきましては、下記の申込方法及び注意事項等をご了承の上、お申し込みください。

① Googleフォームを用いた申込フォームです。申込時に以下の情報が必要となります。

・メールアドレス ・当センターの利用者番号 ・氏名 ・認定産業医番号 ・所属医師会名(無所属の場合は非会員と入力) ・電話番号

② 申込受付期間は、**11月7日(月)10時～10日(木)10時**です。申込フォームのURLは、後日、当センターのホームページ(トップページのTOPICS)に掲載いたします。③ **お一人様、月1回のみ**の受講です。複数回お申込みいただいても、有効となるのは1回分のみです。

④ 受講の可否は、申込受付期間終了後1週間以内に申込フォームに入力されたメールアドレスに通知いたします。以下のようにメールが届きますので、メールアドレスの入力誤りや受取拒否設定等がないようにご注意ください。

step1 申込フォーム入力、送信 *送信直後、送信した内容が申込フォームに入力したアドレスに届く

step2 申込受付期間終了後1週間以内に「受講可」または「受講不可」のメールが申込フォームに入力したアドレスに届く

step3 **受講可の方のみ**、研修開催1週間位前に「研修開催のお知らせ」メールが申込フォームに入力したアドレスに届く

⑤ 受講可となっても、マイページに反映しません。「予約済み」とはなりませんので、ご注意ください。

⑥ 抽選方法及び抽選結果に関するお問い合わせには対応いたしません。ご了承ください。

研修日時	研修テーマ	講師	単位	定員
12月2日(金) 14:00～16:00	過労死の労災補償と過重労働対策 かつて過労死(脳・心臓疾患)は労災補償の問題とされてきたが、1988年の「過労死問題」の社会問題化以降予防対策も講じることになって展開されつつあり、医師の働き方改革も内容が定められた。これらの経過と課題を考える。	石井 義脩	生涯・専門2	24
12月5日(月) 14:00～16:00	自律的な化学物質管理～リスク評価・対策と健康管理の有機的な連携～ 化学物質の管理が、規制主義から自律管理に政策変更されます。有機溶剤を事例として取り上げて、自律管理におけるリスク評価、保護具を含めたリスク対策の適切な選択、そして健康管理との連動について考えます。	中原 浩彦	生涯・更新2	24
12月15日(木) 14:00～16:00	産業医の職場におけるメンタルヘルス相談対応について 職場のメンタルヘルス問題において、産業医は中心的な役割を果たすことが求められています。たとえば、産業医はストレスチェックおよび面接指導を実施する等の場面で中心的な役割を担っています。また、働き方改革関連法案において、産業医に労働者の健康管理等を行うために必要な医学に関する知識に基づいて、誠実にその職務を行わなければならないと明言されています(安全衛生法13条3項)。このことを踏まえこの講義では、産業医の職場におけるメンタルヘルスに係る相談対応への関わり方についてお話しします。	森田 哲也	生涯・専門2	24
12月26日(月) 14:00～16:00	職場のメンタルヘルスにおける依存症 人は、気持ちに余裕がなくなるとストレス発散なのか嗜癖に陥り易いものです。例えば、アルコール、薬物、異性やギャンブルなどに。職場のメンタルヘルス問題の背景にも、依存(症)が隠されているかもしれません。一緒に依存症を概観し、症例を考えてみましょう。	長尾 博司	生涯・専門2	24

◆産業保健研修◆

令和4年12月開催分から、従来の「保健師・看護師研修」「人事・労務・衛生管理者研修」を統合して「産業保健研修」といたしました。産業看護職・人事労務担当者等、産業保健スタッフを対象とした研修です。

※単位等の取得はできません。

●産業保健研修の申込受付開始は、すべて11月24日(木)10時～です。

※こちらの研修は、先着順での受付となります。

〈web研修〉 ◆当センターホームページの「web研修会受講の注意事項及び受講手順」を必ずご覧の上、お申し込みください◆

研修日時	研修テーマ	講師	定員
12月8日(木) 14:00～16:00	<p>【web研修会】「職場における心の健康づくり計画」策定について</p> <p>職場や業務に対して悩みやストレスを抱える社会人は、近年増加傾向にあります。厚生労働省の調査によると、強いストレス要因を持つ労働者の割合は、全体の58%にのぼります(平成30年)。</p> <p>この数値からもメンタルヘルス対策の取り組みは、事業場にとって喫緊の課題の一つと言っても過言ではありません。そこで、厚生労働省では、メンタルヘルス基本方針として、事業場に対して「心の健康づくり計画」の策定を指示しています。</p> <p>当研修では、その「心の健康づくり計画」の策定方法、ポイント等を解説します。</p> <p>◆講義の後、チャットにて質問を受け付ける予定です◆</p>	<p>本山 恭子</p>	<p>50</p>

〈会場研修〉

研修日時	研修テーマ	講師	定員
12月7日(水) 14:00～16:00	<p>労働衛生管理の基礎と事例 ～企業の安全配慮義務違反をリスクと捉えた、快適職場環境の形成について～</p> <p>基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、二部構成で実施します。一部でテーマの法律面・現場の実務面の説明をします。二部で各企業における企業の安全配慮義務違反をリスクと捉えた、快適職場環境の形成について「知る、聞く、話す」を基に簡単なセッション(質疑応答)を行います。</p>	<p>吉田 守</p>	<p>24</p>
12月12日(月) 14:00～16:00	<p>メンタルヘルス『社内研修の進め方』～セルフケア～</p> <p>心の健康づくり計画にあたって4つのケアを中心に策定されており、社内研修はその理解を深める教育・情報提供の場となります。</p> <p>加えて最近では4つのケアの円滑な「連携」をすすめていくことが必要とされています。ここ数年のcovid-19の影響もあり、セルフケアの必要性が再認識されています。</p> <p>今回はアンガーマネジメントも含めて、有効なメンタルマネジメント方法等を解説します。社内研修の参加者から関心、興味を集める社内研修の進め方についてご一緒に考えていきたいと思います。</p>	<p>松井 知子</p>	<p>24</p>
12月14日(水) 14:00～16:00	<p>高齢労働者の安全衛生対策の進め方 ～身体機能・安全衛生の現状とエイジフレンドリーガイドライン～</p> <p>職場で働く高齢労働者が増加しています。高齢者の労働災害の発生率は若年者よりも高く、休業期間も長くなる傾向があります。高齢者の身体機能は壮年者と比較すると低下が見られ、このことが、高齢者の発生率の高い転倒、墜落・転落災害の発生に影響していると考えられています。また、定期健康診断における有所見率は高齢になると高くなっています。厚生労働省は、高齢労働者が安心して安全に働ける職場環境づくりや高齢労働者の健康づくりを推進するため、令和2年3月に「高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン(エイジフレンドリーガイドライン)」を公表しました。このような現状とガイドラインの要点について解説します。</p>	<p>荒川 輝雄</p>	<p>24</p>
12月20日(火) 14:00～16:00	<p>知っておくと便利な自前のできる社内研修のツール①～エゴグラム～</p> <p>この研修では、セルフケア研修に活用できるエゴグラムについて解説します。参加者には、実際のエゴグラムを体験し、自己認識を深めていただきます。</p>	<p>森崎 美奈子</p>	<p>24</p>